

第30回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会



総合評価方式に関する一考察 (除算方式について)

(財)港湾空港建設技術サービスセンター
建設マネジメント研究所 公共調達支援総室
上席研究員 高木 栄一

平成24年12月12日

…本日お話しする内容…

1. 除算方式の検証

- 1-1 通常の総合評価方式と「簡略型」との比較
- 1-2 加算方式との比較(高度技術提案型)
- 1-3 加算方式との比較(標準型)
- 1-4 検証結果による現行の総合評価方式の課題

2. 総合評価方式の改善策の方向性

- 2-1 「順位方式」の採用
- 2-2 入札価格に関する工夫
- 2-3 除算方式の分子は加算点のみ
- 2-4 実績重視の転換
- 2-5 公募型指名競争入札で価格競争方式の採用

1. 除算方式の検証

1-1 通常の総合評価方式と「簡略型」との比較

(平成23年度、港湾空港関係、予定価格2.5億円以上)

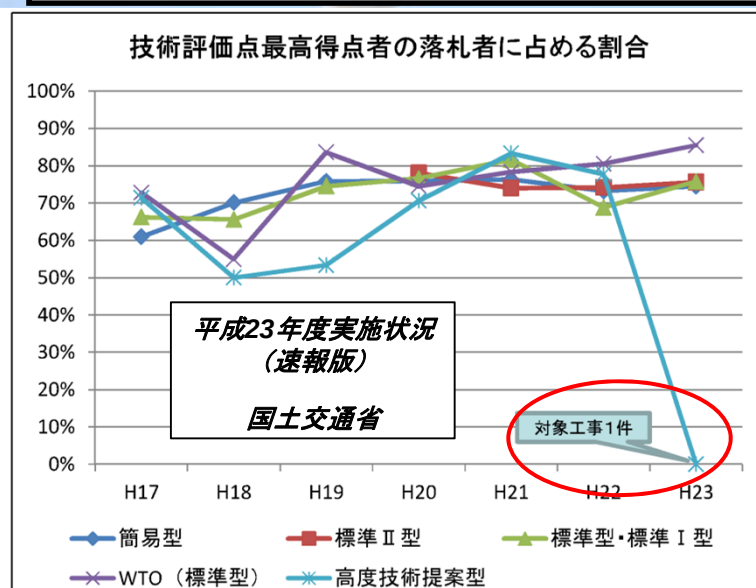
※ 「簡略型」: 加算点無し、施工体制点30点(低入札対策付き価格競争方式)

$$\text{簡略型の評価値} = \frac{\text{標準点(100点)} + \text{施工体制評価点(30点)}}{\text{入札価格}}$$

方式		工事件数	予定価格 (百万円)	調査基準価格/ 予定価格(%)	落札率 (%)	落札者の順位	
						価格	加算点
簡略型	計	43	—	—	—	—	—
	平均	—	411	86.75	89.90	1	—
通常の 総合評価	計	205	—	—	—	—	—
	平均	—	711	86.79	88.01	2.21	1.36

方式		参加者					逆転額(平均)	
		全	無効	超過	辞退	応札率	(万円)	対予定価格 比率(%)
簡略型	計	315	72	31	9	—	—	—
	平均	7.33	1.67	0.72	—	93.52	—	—
通常の 総合評価	計	1,461	238	68	27	—	—	—
	平均	7.13	1.16	0.33	—	90.17	198	0.34

1-2 加算方式との比較(高度技術提案型) 事例(1)



予定価格	2,831,310千円
調査基準価格	2,422,450千円
基準評価値	3.531
標準点	100.000

第1回						備考	摘要
入札価格	加算点+ 施工体制 評価点	標準点+ 加算点+ 施工体制評価点	評価値	評価点	評価値		
¥2,555,000,000	90.000	190.000	7.436				予算決算及び会計令第85条に定める調査基準価格を下回っていたため、保留としていたが、平成24年3月12日付けで落札決定した。
¥2,287,000,000	72.000	172.000	7.520			落札 低入札価格 調査実施	

現行の除算方式:B社

$$\text{評価値} = \frac{\text{標準点(100点)} + \text{施工体制評価点(30点)} + \text{加算点}}{\text{入札価格}}$$

	標準点		施工体制 評価点		加算点		入札価格		評価値
A社	100点	+	30点	+	60点	) ÷	255.5億円	=	0.7436
B社	100点		30点		42点		228.7億円		0.7520

加算方式(1対1):A社

$$\text{評価値} = \text{加算点} + 60 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

	加算点		入札価格		予定価格		評価値
A社	60点	+ 60点 × (1 -	255.5億円	/	283.131億円	) =	65.8554
B社	42点		228.7億円				53.5348

分子が加算点のみの除算方式:A社

$$\text{評価値} = \frac{\text{加算点}}{\text{入札価格}}$$

	加算点		入札価格		評価値
A社	60点	/	255.5億円	=	0.2348
B社	42点		228.7億円		0.1836

1-2 加算方式との比較(高度技術提案型) 事例(2)

入札価格	加算点+ 施工体制 評価点	標準点+ 加算点+ 施工体制評価点	評価値
¥13,920,000,000	83	183.000	1.314
¥11,820,000,000	0	100.000	0.846
¥13,380,000,000	70	170.000	1.270
¥12,200,000,000	69	169.000	1.385

予定価格	14,807,330千円
調査基準価格	12,804,110千円
基準評価値	0.675
標準点	100.000

標準点	施工体制評価点			評価点								加算点	技術評価点
	品質確保 の実効性	施工体制確保の 確実性	評価点合計	企業の高度な技術力									
				現場施工期間の短縮			国道17号および周辺 道路の安全に配慮し た施工計画		長期間にわたる本体 構造物の確実な止水 性確保				
				審査	提案値＊	評価点	審査	評価点	審査	評価点			
100	15	15	30	VE	123	13	VE	20	VE	20	53.000	183.000	
100	0	0	0	VE	121	0	VE	0	VE	0	0.000	100.000	
100	15	15	30	VE	184	20	VE	10	VE	10	40.000	170.000	
100	15	15	30	VE	90	9	VE	20	VE	10	39.000	169.000	

現行の除算方式:B社

$$\text{評価値} = \frac{\text{標準点(100点)} + \text{施工体制評価点(30点)} + \text{加算点}}{\text{入札価格}}$$

		標準点		施工体制 評価点		加算点		入札価格		評価値
A社	(	100点	+	30点	+	53点	) ÷	139.2億円	=	1.314
B社		100点		30点		39点		122.0億円		1.385

加算方式(1対1):A社

$$\text{評価値} = \text{加算点} + 60 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

	加算点		入札価格		予定価格		評価値
A社	53点	+ 60点 × (1 -	139.2億円	/	148.0733億円	) =	56.5955
B社	39点		122.0億円				49.5650

分子が加算点のみの除算方式:A社

$$\text{評価値} = \frac{\text{加算点}}{\text{入札価格}}$$

	加算点		入札価格		評価値
A社	53点	/	139.2億円	=	0.3807
B社	39点		122.0億円		0.3197

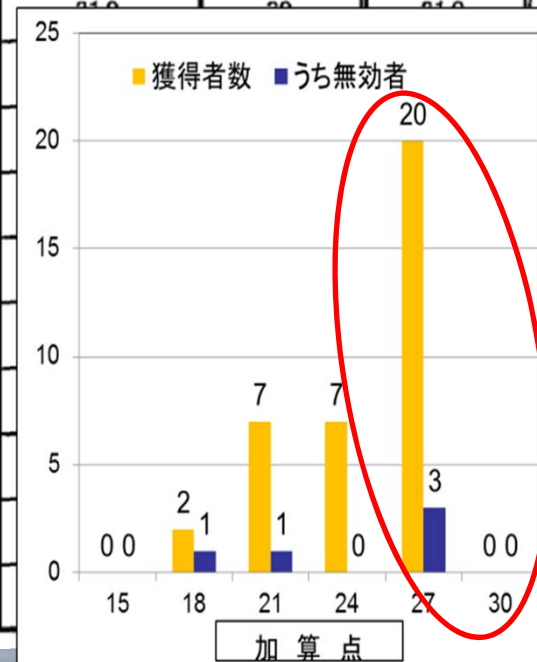
1-3 加算方式との比較(標準型) 事例(1)

評価項目計	施工体制 評価点(A)	加算点(B)
27.0	30	27.0
27.0	30	27.0
27.0	30	27.0
27.0	30	27.0
27.0	—	—
27.0	30	27.0
27.0	30	27.0
27.0	—	—
27.0	30	27.0
27.0	30	27.0
21.0	30	21.0
24.0	30	24.0
27.0	30	27.0
27.0	30	27.0
21.0	30	21.0

評価項目計	施工体制 評価点(A)	加算点(B)
—	—	—
27.0	30	27.0
21.0	30	21.0
27.0	30	27.0
24.0	30	24.0
27.0	30	27.0
24.0	30	24.0
27.0	30	27.0
24.0	30	24.0
27.0	30	27.0
21.0	—	—
24.0	30	24.0
24.0	30	24.0
27.0	30	27.0
27.0	30	27.0
21.0	30	21.0

**39者中
辞退2者、無効5者**

評価項目計	施工体制 評価点(A)	加算点(B)
27.0	—	—
24.0	30	24.0
12.0	30	12.0
21.0	30	21.0
—	—	—
21.0	30	21.0

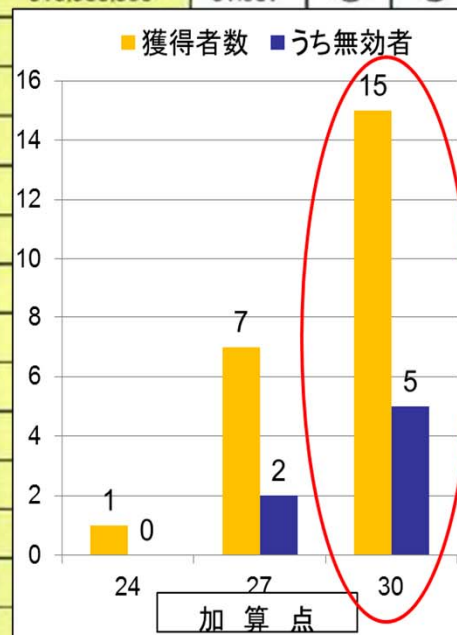


基礎点 (標準点)	施工体制 (施工体制評価点)		技術提案 PC上部工の品質・耐久性向上に関する施工計画	加算点 合計	基礎点 (標準点) +加算点 (A)	第1回					備考	摘要
	品質確保の 実効性	施工体制確保の 確実性				入札価格 (単位:円)(B)	評価値 (A)/ (単位:億円)(B)	評価値 ≥ 基準 評価値	予定 価格 以下	調査 基準 価格 以上		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	506,000,000	31.620	○	○	○	平成24年8月1日	落札
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	506,960,000	31.560	○	○	○		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	507,730,000	31.512	○	○	○		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	507,980,000	31.497	○	○	○		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	508,800,000	31.446	○	○	○		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	509,000,000	31.434	○	○	○		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	509,000,000	31.434	○	○	○		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	510,000,000	31.372	○	○	○		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	512,150,000	31.240	○	○	○		
100	15.0	15.0	30.0	60.0	160.0	515,500,000	31.037	○	○	○		
100	15.0	15.0	27.0	57.0	157.0					○		
100	15.0	15.0	27.0	57.0	157.0					○		
100	15.0	15.0	27.0	57.0	157.0					○		
100	15.0	15.0	27.0	57.0	157.0					○		
100	15.0	15.0	27.0	57.0	157.0					○		
100	15.0	15.0	24.0	54.0	154.0					○		
—	—	—	【27.0】	—								無効
—	—	—	【30.0】	—								無効
—	—	—	【30.0】	—								無効
—	—	—	【30.0】	—								無効
—	—	—	【30.0】	—								無効
—	—	—	【30.0】	—								無効
—	—	—	【27.0】	—								無効
												辞退

■ 獲得者数 ■ うち無効者

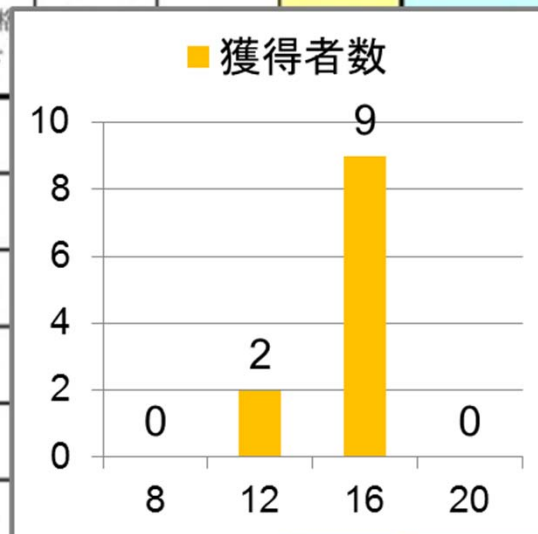
加算点	獲得者数	うち無効者
24	1	0
27	7	2
30	15	5

24者中
辞退1者、無効7



**24者中
辞退1者、無効7者**

	業 者 名	提案値等 (単位:日)	標準点 (基礎点)	加算点	基礎点+ 加算点 (A)	第 1 回 入 札 価 格 (単位:円)(B)	予定価格 以 下				第 2 回
1			100.0	46.0	146.0	480,000,000	○				
			100.0	42.0	142.0	471,200,000	○				
			100.0	46.0	146.0	473,000,000	○				
			100.0	46.0	146.0	475,500,000	○				
5						無効					
6			100.0	46.0	146.0	473,600,000	○				
7			100.0	46.0	146.0	471,400,000	○	○	30.9715	○	
8			100.0	46.0	146.0	474,000,000	○	○	30.8016	○	
9						無効					
10			100.0	42.0	142.0	493,000,000	○	○	28.8032	○	
			100.0	46.0	146.0	469,400,000	○	○	31.1035	○	落札
			100.0	46.0	146.0	474,000,000	○	○	30.8016	○	
13			100.0	46.0	146.0	473,500,000	○	○	30.8342	○	
	(以上13社)										



簡易型
(施工計画のみ)
加算点20点

満点はいない
(16点が9者)

加算点に差がつかない標準型の場合、加算方式でも対応できない

1-3 加算方式との比較(標準型) 事例(2)

「優良可」方式の場合、加算方式でも対応できない

標準Ⅱ型
優60・良30・可0

最後は、良を獲得した
2者の価格競争

優60の2者は無効
良30の6者中、
有効は2者のみ

業者名	標準点	品質確保 の 評価点	施工体制 確保 の評価点	評価点合 計	企業の技術力		企業の信 頼 性・社会性 の評価点	評価 の合計	標準Ⅱ型 優60・良30・有20	
					施工計画					
					盛土施工における施工上配慮すべき 事項	施工計画以外				
					評価点	評価点				
					60	22	3	85.000	-	-
					30	15	2	47.000	-	-
	100	15	15	30	30	25	3	58.000	60.000	190.000
					0	17	2	19.000	-	-
					30	34	3	67.000	-	-
					30	10	2	42.000	-	-
					60	11	3	74.000	-	-
					30	20	2	52.000	-	-
	100	15	15	30	30	13	2	45.000	46.551	176.551

最後は、良を獲得した
2者の価格競争

優60の2者は無効
良30の6者中、
有効は2者のみ

企業の技		企業の信		評価点 の合計	4点	技術評価点
施工計画	施工計画以外	頼 性・社会性	評価点			
軟弱地盤上の堤防の新設及び構 築における施工上配慮すべき について						
評価点	評価点	評価点				
60	15	3	78.000	-	-	
30	26	4	60.000	-	-	
15	19	6	40.000	-	-	
30	19	4	53.000	-	-	
0	6	3	9.000	11.739	141.739	
0	29	2	31.000	-	-	
30	14	2	46.000	60.000	190.000	
0	11	7	18.000	23.478	153.478	

優60の1者は無効
良30の3者中、
有効は1者のみ

評価点合計の高い
3者は無効

優60の1者は無効
良30の3者中、
有効は1者のみ

評価点合計の高い
3者は無効

1-4 検証結果による現行の総合評価方式の課題

(1) 加算点に差がつかない状況

- ・現行の除算方式はもちろん、加算方式でも対処できない問題である。
- ・加算点に有為な差がつく評価方法が不可欠である。
(二極化の技術提案評価型S型・A型で目指したもの)

(2) 総合評価方式における入札価格の感度

- ・入札価格が評価値に与える感度が鋭敏すぎる。
- ・加算点と同程度の感度に近づける必要がある。

(3) 現行の除算方式の欠点

- ・「標準点100点＋施工体制評価点30点」は有効な応札者すべてが獲得できる。
- ・加算点の差を著しく薄めている。

(4) 技術提案が高い評価を得ても無効

- ・以上のような状況から、技術提案が高い評価を得るにもかかわらず、調査基準価格直上を狙って入札とせざるを得ない。

**落札者の加算点15点
加算点21点3者・18点5者無効**

【標準型(施工体制確認型)】

予定価格	929,620,000	(消費税抜き)
調査基準価格	811,410,000	(消費税抜き)
基準評価値	10.757	

(総合評価落札方式)

執行員 官職 国土交通事務官
氏名 XXXXXXXXXX 印
立会人 官職 国土交通事務官
氏名 XXXXXXXXXX 印

業 者 名	基礎点 (標準点)	施工体制 (施工体制評価点)		技術提案 (加算点)	加算点 合計	基礎点 (標準点) +加算点 (A)	第1回					備考	結果	
		品質確保 の実効性	施工体制 確保の 確実性				連続鉄筋コンク リート版の品質・耐 久性向上に関する 施工計画	入札価格	評価値	評価値 と 基準 評価値	予定 価格 以下			調査 基準 価格 以上
	100	15.0	15.0	15.0	45.0	145.0	830,000,000	17.469	○	○	○	平成24年1月4日	落札	
	—	—	—	【18.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【15.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【15.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【18.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【21.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【21.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【18.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【18.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【15.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【21.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【18.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【12.0】	—	—							無効	
	—	—	—	【12.0】	—	—							無効	

13者無効
有効は1者のみ

※【 】加算点は、施工体制確認前の仮点である

入札金額は、入札者が見積もった契約希望金額の105分の100に相当する金額である。

公表日 平成24年 月 日

**13者無効
有効は1者のみ**



低い加算点で落札

基礎点 (標準点)	品質確保 の実効性	施工体制 の確実性	根拠のブロックコ ンクリートの品 質・耐久性向上 に関する施工計 画	技術者の能力								企業の技 術力					不正又は 不誠実な 行為等による減点	加算点 合計	基礎点 (標準点) +加算点 (A)	第1回					備考	結果	
				工事 成績	工事成 績優秀 企業認 定制度	施工団 体又は 安全管 理優良表彰	下請企 業表彰	工事成 績	優秀建設 又は安全 管理優良 技術者表彰	継続 学習 (CPD)	新技術情 報提供シ ステム(N ETIS)	地域精進度・地域貢献度								入札価格 (単位:円)(B)	評価値 (A)/ (単位:値円)(B)	評価値 と 基準 評価値	予定 価格 以下	調査 基準 価格 以上			
												地域内にお ける本支 店、営業所 の所在地の 有無	企業の近 隣地域で の施工実 績の有無	災害支援 活動の実 績の有無	地元一次 下請企業 の活用率	元請企業(ま たは一次下請 企業)の地元 資材の活用											
100	15.0	15.0	5.0	5.3	0.0	3.0	1.0	3.6	1.5	1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	3.0	2.0	0.0	61.4	161.4	598,000,000	26.989	○	○	○	平成24年3月26日	落札	
-	-	-	[200]	5.6	0.0	3.0	1.0	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	3.0	2.0	0.0	-	-								無効
-	-	-	[150]	3.3	0.0	0.0	1.0	3.8	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	3.0	2.0	0.0	-	-								無効
-	-	-	[150]	5.3	0.0	3.0	1.0	4.0	3.0	1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	3.0	2.0	0.0	-	-								無効
-	-	-	[100]	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	3.0	2.0	0.0	-	-								無効
-	-	-	[7.5]	6.0	0.0	1.5	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	3.0	2.0	0.0	-	-								無効
-	-	-	[7.5]	6.0	0.0	3.0	1.0	3.2	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	2.0	0.0	-	-								無効
-	-	-	[5.0]	4.3	0.0	0.0	1.0	4.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	3.0	2.0	0.0	-	-								無効
-	-	-	[100]	5.0	0.0	3.0	1.0	4.0	3.0	1.0	1.0	2.0	1.0	0.0	3.0	2.0	0.0	-	-								無効
																											辞退
																											辞退
																											辞退
																											辞退

低い加算点で落札



調査基準価格	¥1,198,336,650. - (¥1,141,273,000. -)
--------	---------------------------------------

評価点の内訳			標準点+加算点+ 施工体制評価点 ⑧=①+⑥+⑦	第1回			第
技術提案 ②	VEヒアリング内容 ③	合計④= ②+③		入札金額 円 〃 億円⑨	評価値 ⑩=⑧/⑨	評価 順位	
40.0	8.2	48.2	—	1,140,000,000 11.40000	—	—	無効 低入札価格
17.7	5.2	22.9	153.755	1,188,000,000 11.88000	12.942	1	落 札

2. 総合評価方式の改善策の方向性

平成24年2月28日

総合評価方式の活用・改善等による品質確保に関する懇談会

□ 二極化の指向

【技術提案評価型】 ← 標準Ⅰ型、WTO標準型

- ・技術提案での競争度合いを高める方式
- ・有為な差が出る技術提案の設定、評価方法

ex. 求める技術提案は、「工夫」「施工計画」
優・良・可で評価、または4段階方式

【施工能力評価型】 ← 簡易型、標準Ⅱ型

- ・技術力を簡単に評価するタイプ(過去の実績のみ)
- ・簡易な施工計画(可・不可のみ、加算点無し)

【ヒアリング】

- ・配置予定技術者ヒアリングによる三段階の係数掛け(×1、0.5、0)

【段階選抜】

- ・競争参加者を絞り込む必要がある場合

□ その他の方向性

【加算方式について検討が必要】

【公募型指名競争入札の採用】

一般競争入札とは、会計法上の一般競争入札のみならず、**広く参加者を募った上で、実績等により参加者を絞り込む『段階選抜方式』**も含む。



2-1 「順位方式」の採用

2-2 入札価格に関する工夫

2-3 除算方式の分子は加算点のみ

2-4 実績重視の転換

2-5 公募型指名競争入札で価格競争方式の採用



2-1 「順位方式」の採用

- 判定方式、数値方式では、1位複数の可能性
- 順位方式: 数値化が困難な評価項目の性能等に関して、
入札参加者の順位により点数を付与する方式
「公共工事における総合評価方式活用ガイドライン」(平成17年9月)より
- 入札参加者の内、加算点上位(たとえば、10者、8者、5者)
に順位を付して、加算点を与える方法
- 二極化の目指す「有為な差のつく評価方法」は順位方式
標準点が現状通り100点、施工体制点30点の場合
ex. 1位: $(100 + 30 + 50) \div 0.89 = 202.2472$
2位: $(100 + 30 + 43) \div 0.86 = 201.1627$
※ 業務の「プロポーザル方式」は順位方式
- 優・良・可方式(あるいは、4段階方式)の工夫で対応

2-2 入札価格に関する工夫

- 現行の入札契約制度：応札単位に制限はない。
 - 10億円超の工事でも、1円単位の応札が可能
 - 応札価格1円の違いで落札可能性
 - 応札者は、調査基準価格の推参に大きな労力

○ 入札説明書等で、応札価格の単位を制限する。

ex. 1億円規模の工事は、100～10万円単位

10億円規模の工事は、1000～100万円単位

※ 歩掛見積参考資料(または見積参考資料)の開示内容等の検討が必要

[開示の目的]

「予定価格の透明性の向上および発注者・受注者間の
片務性の改善を図るため」

第1回入札金額	第2回入札金額	第3回入札金額	見積金額	入札等の結果
1,291,940,000				くじにより落札
1,291,940,000				
1,292,100,000				
1,292,100,000				
1,292,400,000				
1,295,500,000				
1,291,970,000				
1,294,700,000				
1,296,000,000				
1,292,000,000				
1,294,000,000				
入札無効				
入札無効				
入札無効				
入札無効				
入札無効				
入札無効				
入札無効				
入札無効				
入札無効				

**10数億円の工事で
1万円単位の入札
調査基準価格と同額2者
くじ引き落札**

8者無効、5者僅差の応札

予定価格 (消費税抜き)	746,510 千円
調査基準価格 (消費税抜き)	650,210 千円

**調査基準価格と同額の1万円単位で入札4者
くじ引き落札**

10時20分

(単位：円)

第1回		第2回		--		見積	摘 要
金 額	評価値	金 額	評価値	--	--	金 額	
650,210,000	21.8390						
650,300,000	21.2209						
650,210,000	21.8390						落札
650,220,000	21.6234						
650,210,000	21.8390						
650,210,000	21.8390						
650,220,000	21.8387						
651,000,000	21.8125						

2-3 除算方式の分子は加算点のみ

【標準点について】

- 現在採用されている標準点は、
「**当面、標準的には、標準点を100点、加算点を10点とし・・・**」
とされたもの。

※ 国土交通省大臣官房通達「工事に関する入札に係る総合評価落札方式の性能等の評価方法について」(平成14年6月13日)

平成14年当時は、「総合評価管理費」を計上する方式

【施工体制評価点について】

- 加算方式ではなく、減算方式とする。
→ 応札する以上、施工体制は整っていて当たり前
- または、業務と同様の「履行確実性度」を評価する方式とする。

【分子は加算点のみ】

- **標準点も施工体制点も0点とした場合、加算点が小さくても、有為な差**
ex. 1位: $3.0 \text{ 点} / 0.90 = 3.3333$
2位: $2.8 \text{ 点} / 0.86 = 3.2558$
- **基準評価値は、すべての案件で「0」**

(参考)

※ 米国の方式(Adjusted Score Method)

技術スコア×エンジニアの見積／価格提案

=技術スコア／(価格提案／エンジニアの見積)

=技術スコア／応札率

*Best-Value Procurement Methods for Highway Construction Projects
NATIONAL COOPERATIVE HIGHWAY RESEARCH(NCHRP) REPORT561
TRANSPORTATION RESEARCHBORD 2006*

SCOPE翻訳「道路建設プロジェクトのためのベストバリュー調達方式」
(全米道路共同研究プログラム報告書561号、2006年 輸送調査委員会)

※ 標準点が100点ではない事例(国土交通省総合政策局)

「建設関連業等の動態調査における民間競争入札実施要項(案)」

総合評価点=(基礎点72点+加算点57点)÷入札価格

※ 入札監視委員会意見(複数)

「調査基準価格以下の者が、ペナルティがないことから施工体制確認のヒアリングを辞退することについて、何らかの対応が必要ではないか？」

無効の多発:有効1者のみ

予定価格(消費税抜き) 円	569,840,000
調査基準価格(消費税抜き) 円	494,270,000
基準評価値	17.5487

(総合評価落札方式)

執行員 〆

印

立会員 〆

印

(単位 : 円)

第1回入札価格(円) (B)	評価値 (A) / (B)	評価値 ≥ 基準評価 値	第2回入札価格 (円)	評価値 (A) / (B)	評価値 ≥ 基準評価 値	備 考	摘 要
495,100,000	34.2961	○					落札
—	—	—					無効
—	—	—					無効
—	—	—					無効
—	—	—					無効
—	—	—					無効
—	—	—					無効
—	—	—					無効
—	—	—					無効
—	—	—					無効

2-4 実績重視の転換

- 標準型の評価項目に占める「過去の実績等」の割合
 - ・「公共工事における総合評価方式活用ガイドライン」
平成17年9月 【標準型】 0%
 - ・「工事・総合評価落札方式等の改善に関する取組方針(案)」
平成22年3月 【標準Ⅰ型】 28%
 - ・「総合評価落札方式の改善(案)」
平成24年2月【技術提案評価型S型】 50%

【工事の経験、施工状況の評価、技術者の経験等の過去の実績について】

平成17年4月施行 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」

・審査しなければならない

平成17年8月閣議決定 同法の「基本方針」

・技術提案とともに評価を行うことも考えられる

2-5 公募型指名競争入札による価格競争の採用

- 二極化の「施工能力評価型」(過去の実績のみで評価)
 - ・標準Ⅱ型と簡易型が移行(国土交通省発注案件の93～96%)
- 過去の実績のみで評価する方法は、体制の整っていない発注者が総合評価方式を導入するに当たって「体制が整うまでの間、導入できる」とされた方式:市区町村向け簡易型

「地方公共団体向け総合評価実施マニュアル」平成19年3月

- 多種多様な公共工事を「総合評価方式による一般競争入札」という一律の方式で調達することには限界がある。
- 過去の実績を競争参加資格として設定し、「公募型指名競争入札による価格競争方式」を採用する方向の検討

※ **低入札対策を残した「簡略型」のような価格競争方式の導入**

公共調達に関するプロジェクトチーム報告書ー公共調達改革に関する都道府県実施状況についてー
(平成20年7月18日、全国知事会 公共調達に関するプロジェクトチーム)【アドバイザーからの助言】

「総合評価方式は導入件数が多いから良いというものではない。評価の中身が重要である。企業からきちんと技術提案を受けて適正に評価してこそ意義がある」

今年度の調査研究成果に期待

【国土技術政策総合研究所】海外における建設生産システムに関する調査業務

欧米諸国(米・英・仏・独)における公共調達システムの実態整理

公共工事の主な調達方式、及びその適用基準、適用実績・比率

総合評価落札方式の運用実態

入札参加資格要件、評価項目、採点基準、落札者の決定方法

【土木学会 建設マネジメント委員会】公共事業執行システム研究小委員会

海外の公共工事入札における落札価格の制限(上限および下限)、**中小規模工事の調達制度**、入札の地元要件等に関する実態を参考とし、わが国の低入札防止策の具体的な運用方策や、地元建設業者育成策を含めて**中小規模工事の調達方式のあり方**を研究する。